

## 『すべての地域で、すべての人の、 暮らしを支え・生きるを支える』 専門職

法人介護部長 大澤みさ子



2000年、老人保健施設はびろの里がオープンし30名以上の介護職員が、志高く目標を持って当法人に入職しました。当時より「介護は専門職」を意識し、他職種との連携を深め、事例から学び、質の向上を目指し、育成システムの構築を進めてきました。現在は、260名を超える介護職員が患者様・利用者様の人生と想いに寄り添い「物語られる いのち」を大切にされた介護を郡内各地で実践しています。共に働く仲間を募集しています。

## 介護職員個人として職場として 質を高めることが最大の魅力

介護長 吉瀬 太一

上伊那医療生協は、介護職員それぞれのキャリアアップを上司と一緒に考えられるよう、マネージメントリーダー、テクニカルリーダーを整備し目標管理面談を実施しています。それぞれの目標を確認し、優点や想いの共有を行うことで自身のキャリアアップが図れます。長く働き続けるための福利厚生も充実しており、医療費補助や子育て支援等を活用し公私を大切にされた働き方が可能です。その中で個人としても職場としても質を高めていけることが最大の魅力と感じています。

## 先輩方より



1歳5か月になった男の子をもつママ介護職です。

養成校を卒業し、正規職員で上伊那医療生協に入職。結婚・出産を経て今は時短制度を使って正職のままデイサービスで働いています。子供が病気の際は、職場の理解でお休みさせて頂いたり、病児保育を利用したり福利厚生が充実している法人なので、安心して仕事と子育てを両立しています。

中途採用で20年前に老健はびろの里に入職しました。はびろの里では、様々な職種の方々と利用者様を中心においたカンファレンスを行い、職種関係なく意見交換しています。

現在は、主任職とし職場のマネジメント力を学んでいます。今後も専門職として、役職者として遣り甲斐を感じながら介護現場で働き続けて行きたいと思っています。

